

平成28年度 食品の安全・安心シンポジウム

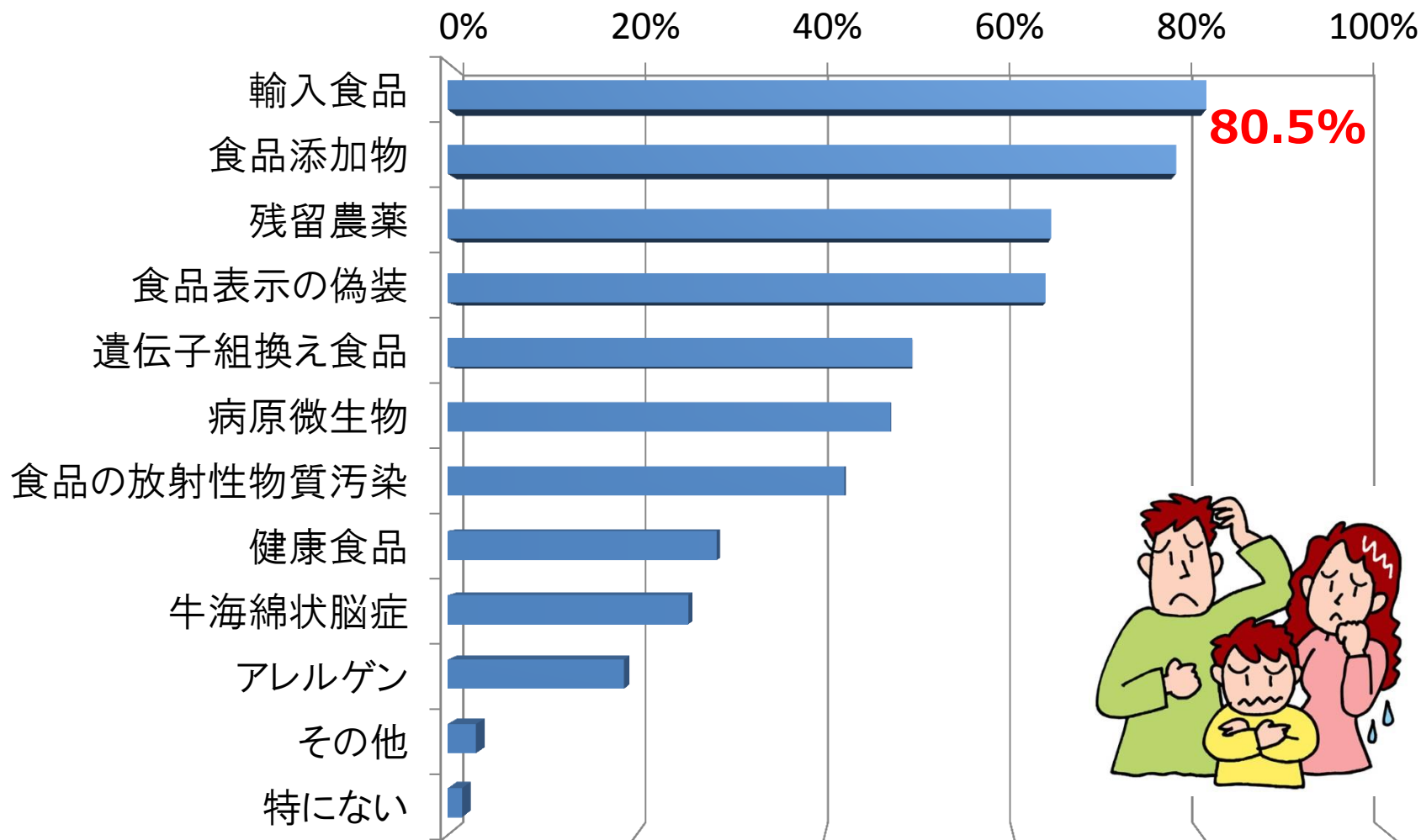
輸入食品に関する取組みについて

岐阜県健康福祉部生活衛生課



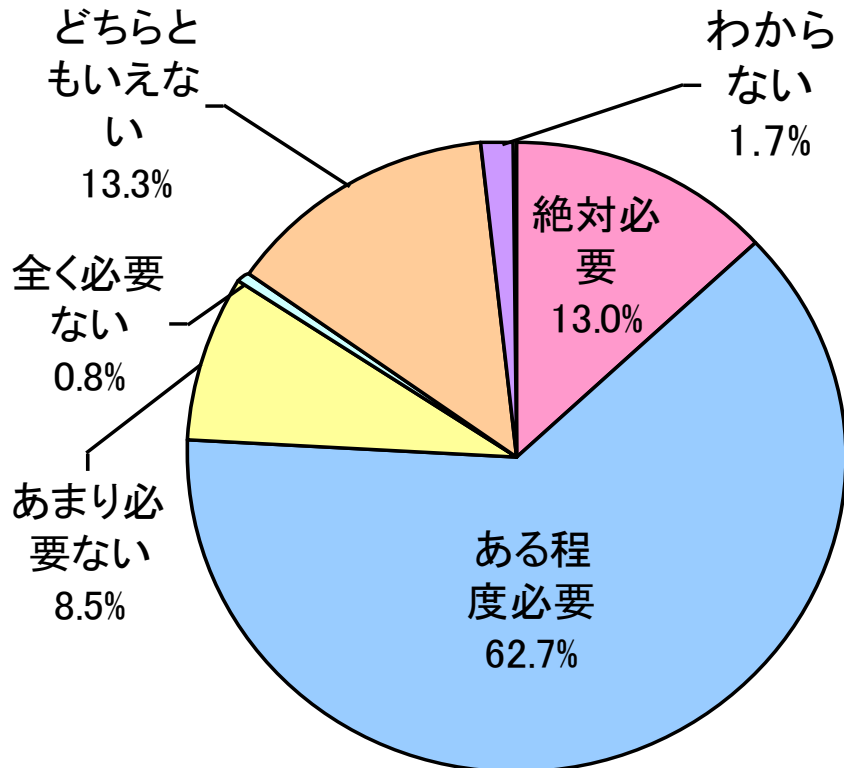


食品の安全性について不安を思う項目



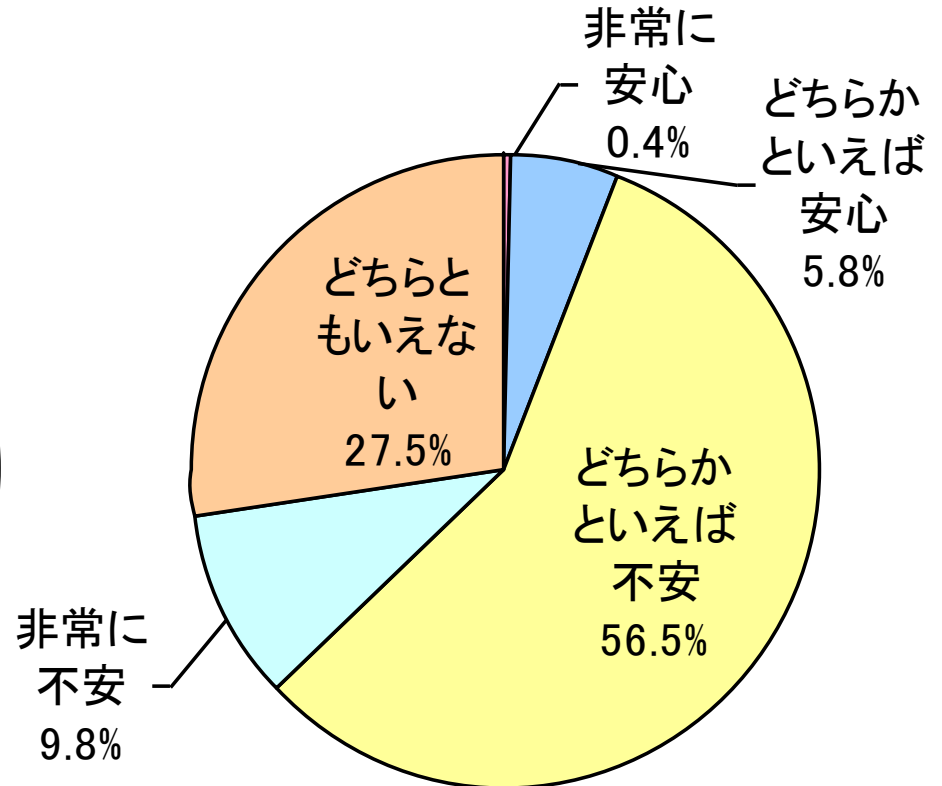
輸入食品の安全性と必要性

Q 輸入食品の必要性についてどのように
思っていますか(回答者数:902人)



必要 75.7%

Q 輸入食品の安全性についてどのように
思っていますか(回答者数:902人)



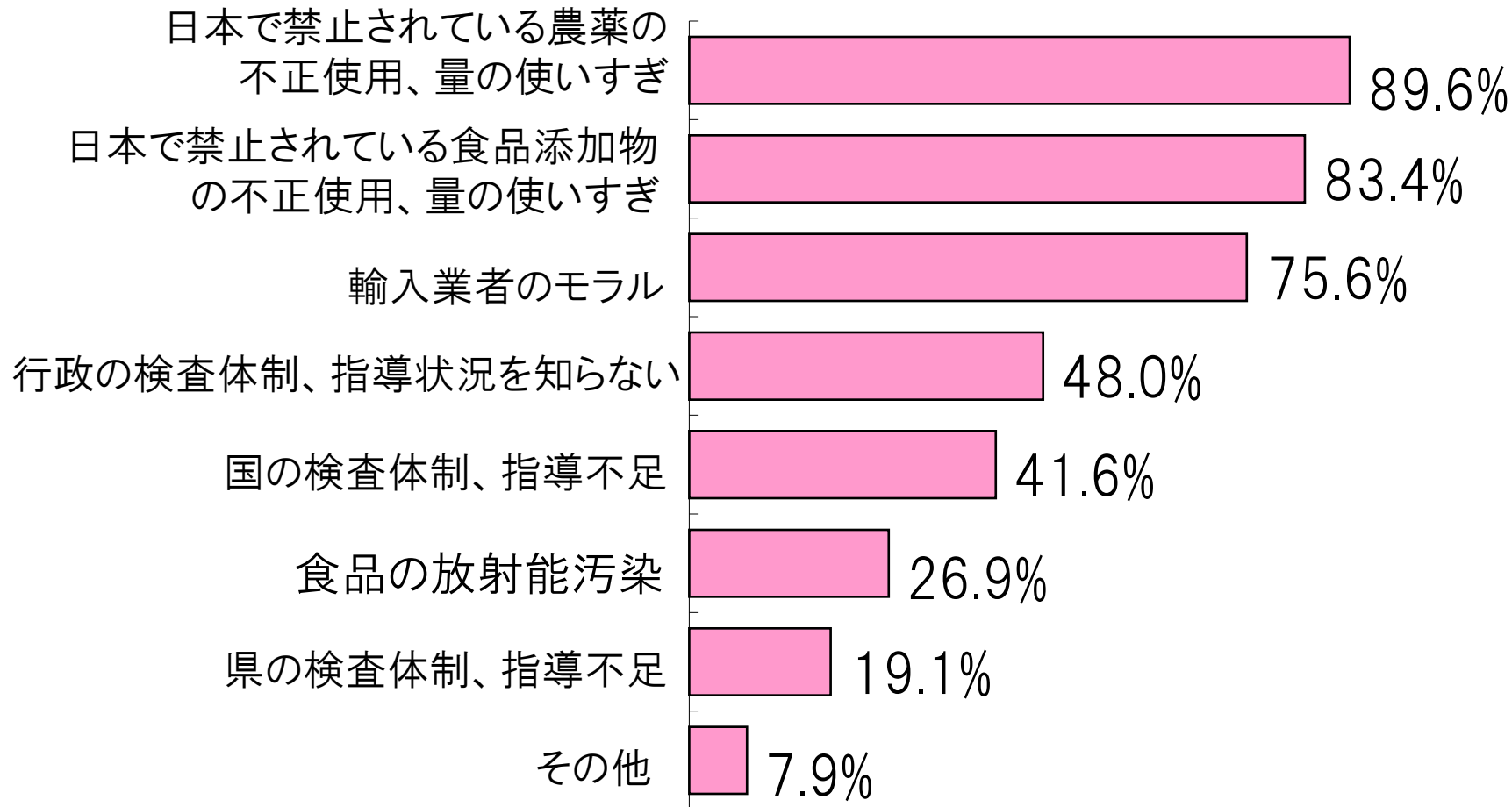
不安 66.8%

必要とは思いつつも、不安を感じている人が多い状況となっている



輸入食品の安全性について不安に思う理由

回答者数:598名





県の輸入食品対策に関する計画

- 食品安全行動基本計画 5か年
食品安全基本条例に基づき、食品の安全性の確保等に関する施策を総合的かつ計画的に推進
- 食品衛生監視指導計画 毎年
食品衛生法に基づき、県内の実情等を踏まえた計画を定め、重点的、効率的かつ効果的な監視指導を推進

輸入食品の監視体制

製造者等

輸出国における衛生対策

輸入時に国の検疫所で検査

県内を流通する輸入食品の検査

- ・食品衛生監視員による収去検査
- ・輸入加工食品の残留農薬検査

消費者

※収去とは：食品衛生法に基づき、微生物、残留農薬、食品添加物などの検査のために、無償で必要なものを製造施設や販売施設から採取することをいいます。



保健所食品衛生監視員の業務

- 飲食店などの営業許可
- 食品営業施設に対する監視指導
- 食中毒の調査
- **食品の収去検査**
- 食品に関する苦情・相談
- **食品衛生知識の普及啓発
(リスクコミュニケーション)**

平成27年度 県・市が行った収去検査結果

検査項目	食品	検体数 () 内は岐阜市
食品添加物	果実、漬物、菓子など	139 (17)
残留農薬	野菜、果実、小麦粉	96 (8)
抗生物質・合成抗菌剤	エビ、うなぎ加工品、ハチミツ、牛肉など	68
遺伝子組換え	トウモロコシ、大豆	32
内部寄生虫駆除剤	牛肉、豚肉	20
ホルモン剤	牛肉	10
カビ毒	ナッツ類、香辛料	5
重金属等	おもちゃ	2 (2)
合計		372 (27)



違反食品なし

※ 1食品で複数項目検査したものの
県10食品、市4食品

輸入加工食品残留農薬検査

○概要

中国製冷凍餃子事件をきっかけに、平成20年度から、食品安全連絡会議の参加団体企業から検査検体を提供いただき、毎年度実施している。

○検査機関

国の登録検査機関

○検査項目

有機リン系農薬 29項目

○検査検体数

毎年度 50検体

○検査結果

全て不検出





出前講座「食品の安全 知っ得講座」

県では、ご希望の日時・場所に職員を派遣し、食品安全をテーマにお話をする出前講座を実施しています

講師料、資料代など経費不要

申し込み方法

○ 参加者を集める

- ・出前講座は、5人以上であれば人数制限はありません。
- ・保育園や幼稚園、小学校、PTA、自治体のほか、お友達同士など、どんなグループでも構いません。

○ 参加申し込み及び会場の確保

会場は、申込者の皆様でご用意いただき、申込用紙に必要事項を記載の上、メール又はFAXにて県生活衛生課までお申込みください。

申込み先 E-メールアドレス c11222@pref.gifu.lg.jp FAX 058-278-2627

※日程調整の都合によりご希望に添えない場合もありますので、お早めにご相談ください。



ご清聴ありがとうございました。

